

🍏 重点分野Ⅱ 持続可能で快適な暮らし

(1) 誰もが安全に移動できる みちづくり

歩行者や自転車利用者の安全確保に向けた対策や、高齢者や障がい者などに配慮した道路のユニバーサルデザイン※化により、誰もが安全に移動できるみちづくりをめざします。

施策の展開

- ① 歩道や自転車通行空間の整備
- ② 生活道路および通学路の交通安全対策
- ③ 踏切道の安全対策
- ④ 歩道のユニバーサルデザイン※化の推進

● 通学路の点検作業の様子

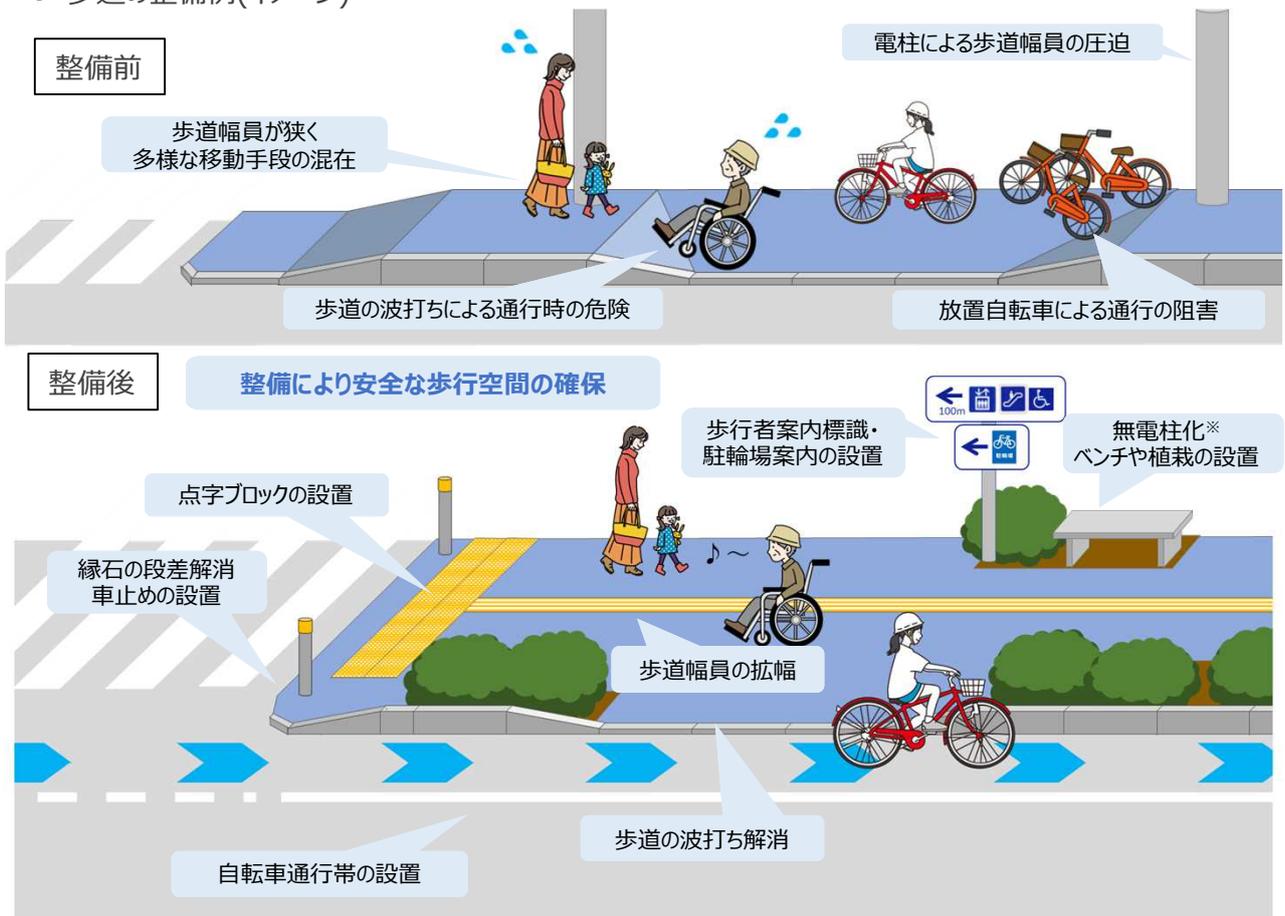


● ゾーン30プラス※の事例



塩尻市広丘高出

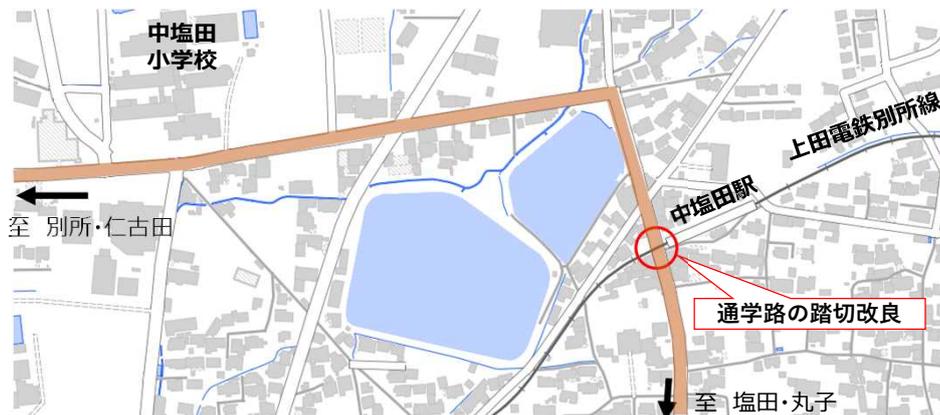
● 歩道の整備例(イメージ)



取組事例① 一般県道 塩田仁古田線 上田市 五加

歩道整備および踏切改良により、通学路における歩行者の安全・安心な通行を確保しました。

■ 通学路の踏切改良



● 整備前



● 整備後



取組事例② 主要地方道 安曇野インター堀金線 安曇野市 田尻

通学時において、新たに歩道を設置することにより、通行車両が児童に接近する危険な状態を解消しました。

■ 通学路の歩道整備

● 整備前



● 整備後



🍏 重点分野Ⅱ 持続可能で快適な暮らし

(2) 脱炭素社会実現に向けた みちづくり

自転車や公共交通機関の利用を促進するための道路環境整備などにより、自家用車に頼らず移動ができ、脱炭素社会の実現に貢献するみちづくりをめざします。

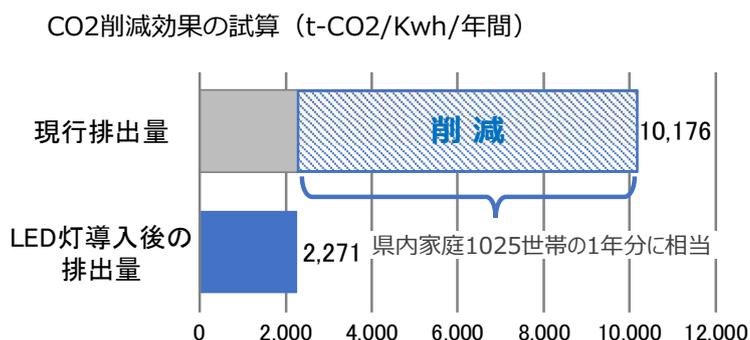
施策の展開

- ① 都市部における自転車通行空間の整備
- ② バス路線の道路環境整備
- ③ ビッグデータ※など情報技術を活用した渋滞状況の把握と対策の推進
- ④ GX※の推進（道路照明のLED化など）
- ⑤ EVや自動運転サービスに対応した道路環境整備

- 道路改良とバス停車帯整備のイメージ



- CO2削減効果（照明LED化）



- 自動運転サービスの例



塩尻MaaSプロジェクト(バス型自動運転車両)

出典：塩尻市

取組事例① 一般国道403号 須坂市 幸高～井上

上信越自動車道「須坂長野東IC」と直結している当該箇所において、4車線化整備により交通ボトルネック箇所を解消し、快適な交通を確保しました。

■ 車線拡幅による渋滞対策の実施

● 整備前



● 整備後



取組事例② 都市計画道路 中常田新町線 上田市 常田

沿道に学校、病院、大型商業施設等が存在していることから、自転車の利用促進を図り、安全・安心な通行ができるように、自転車通行空間の整備を行いました。

■ 自転車通行空間の整備

● 整備前



● 整備後



🍏 重点分野Ⅱ 持続可能で快適な暮らし

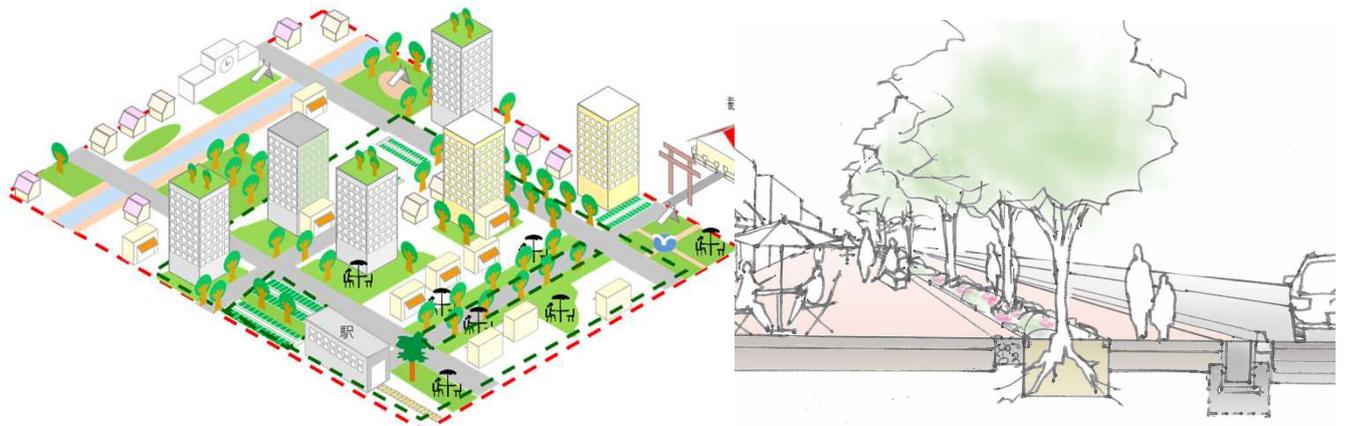
(3) 歩きたくなる みちづくり

道路空間の柔軟な活用や環境整備、良好な景観形成の推進などにより、歩きたくなるみちづくりをめざします。

施策の展開

- ① 信州まち・あい空間による快適で魅力あふれるまちの創出
- ② 道路空間の柔軟な活用によるオープン化（ほこみち制度※の活用など）
- ③ 観光客をひきつける景観の形成・保全の推進（無電柱化※など）

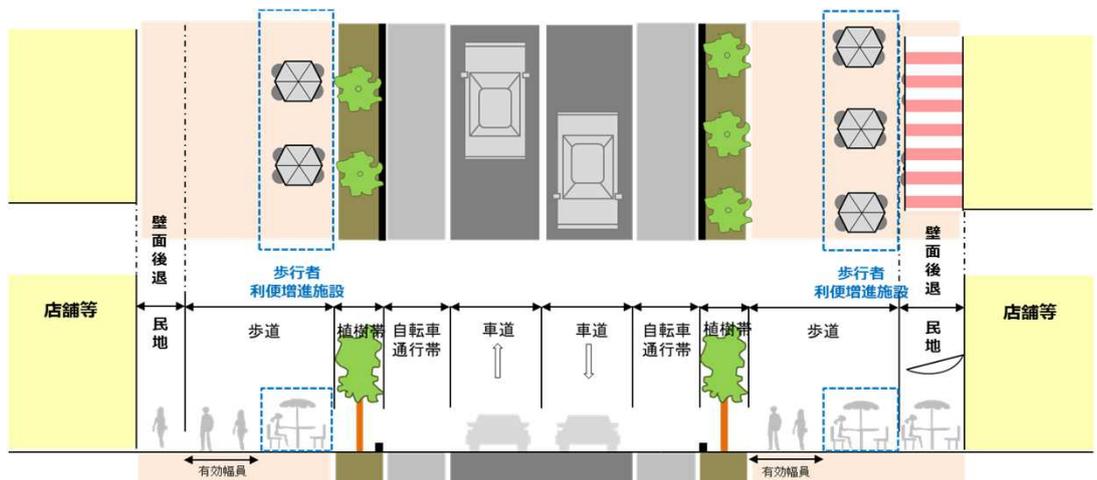
- グリーンインフラ※と連携したウォークブルなまちづくり※のイメージ



信州 “まち・あい” 空間
 ～まちなかが、あるきたくなる、いこちの良い空間～
 ～まちを愛し、まちなかで出会いの空間～



- 道路空間の柔軟な活用によるオープン化のイメージ



出典：信州まちなかグリーンインフラ推進計画～2050年「まち」が「みどり」であふれる～

取組事例①

快適で居心地の良い道路空間を創出するため、道路幅員の再構築による社会実験を行い、新しい道路空間の活用可能性を探りました。

■ 道路空間の柔軟な活用によるオープン化

- 実施例 屋代駅前



- 実施例 信濃大町駅前



取組事例②

一般県道 旧軽井沢軽井沢(停)線 軽井沢町 新軽井沢

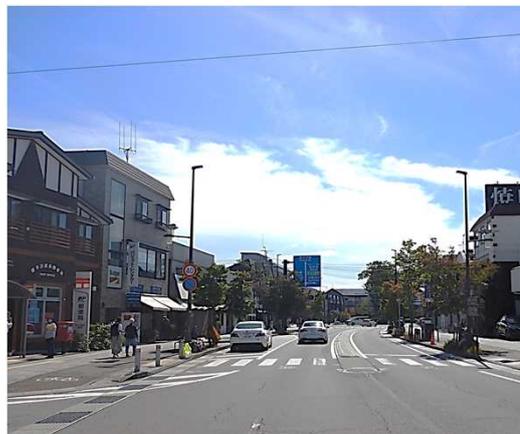
観光地の無電柱化※により、観光客をひきつける景観の形成を進めました。

■ 無電柱化※による景観に配慮した道路整備

- 整備前



- 整備後



重点分野Ⅱ 持続可能で快適な暮らし

(4) 快適な暮らしを支える みちづくり

拠点間を結ぶ道路ネットワークの強化など地域の実情に応じた道路整備を進めることで、快適な暮らしを支えるみちづくりをめざします。

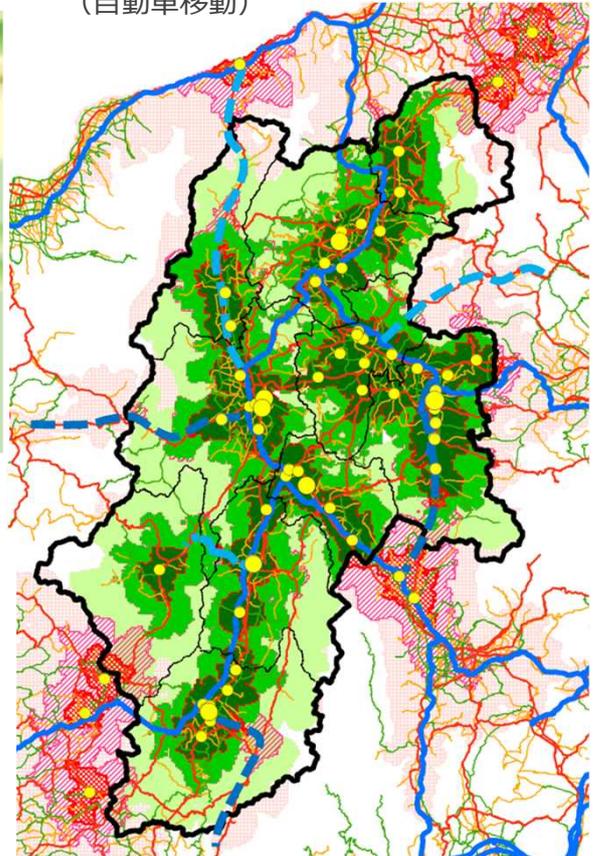
施策の展開

- ① 都市を形成する市街地道路の整備
- ② 都市部や地域の拠点などを結ぶ道路ネットワークの整備
- ③ 地域の生活を支える道路網の整備
- ④ 中山間地における1.5車線の道路整備※
- ⑤ 快適な暮らしを支える適切な維持管理

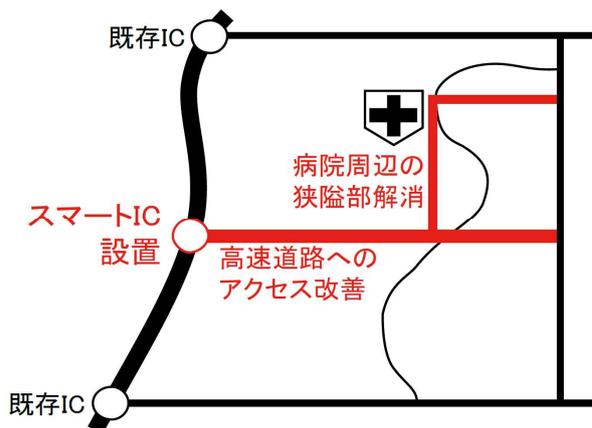
● 道路整備のイメージ



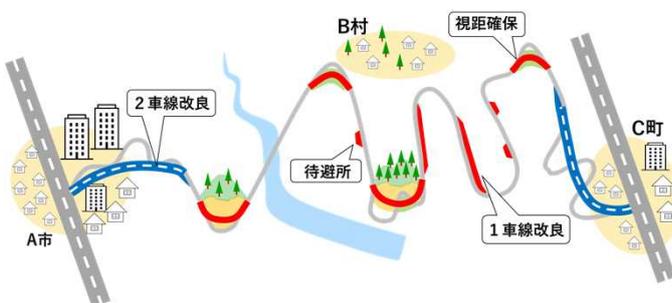
● 医療施設からの到達時間カバー圏域 (自動車移動)



● 地域の生活を支える道路網の形成 (医療施設のアクセス向上のイメージ)



● 1.5車線の道路整備※のイメージ



【凡例】

- | | |
|---------------|---------------|
| ● 第三次医療施設※ | ● 第二次医療施設※ |
| ■ 現在15分カバー圏 | ■ 現在15分カバー圏 |
| ■ 現在30分カバー圏 | ■ 現在30分カバー圏 |
| ■ 現在60分カバー圏 | ■ 現在60分カバー圏 |
| — 高速道路(現在) | — 高速道路(将来) |
| — 地域高規格道路(現在) | — 地域高規格道路(将来) |

【現在】現在道路網

【将来】将来道路網+県外医療施設も含める

高速道路等の延伸 ⇒ 沿線で30分圏域が広がる
 県境地域 ⇒ 県外医療施設と連携することでさらに広がる

取組事例① 主要地方道 飯島飯田線 飯田市 切石～北方

慢性的な渋滞が発生している区間のバイパス整備により、中心市街地へ流入する通過車両の交通転換が図られ、都市環状道路として円滑で安全な交通を確保しました。

■ 都市を形成する市街地道路の整備

● 整備前



(国) 256号の渋滞状況

● 整備後



取組事例② 主要地方道 長野真田線 長野市 松代

歴史的街並みが残る松代地区の中心市街地区間のバイパス整備により、通過車両の市街地進入が抑制され、地区内の環境改善が図られました。

■ 地域の生活を支える道路網の整備

● 整備前



● 整備後

